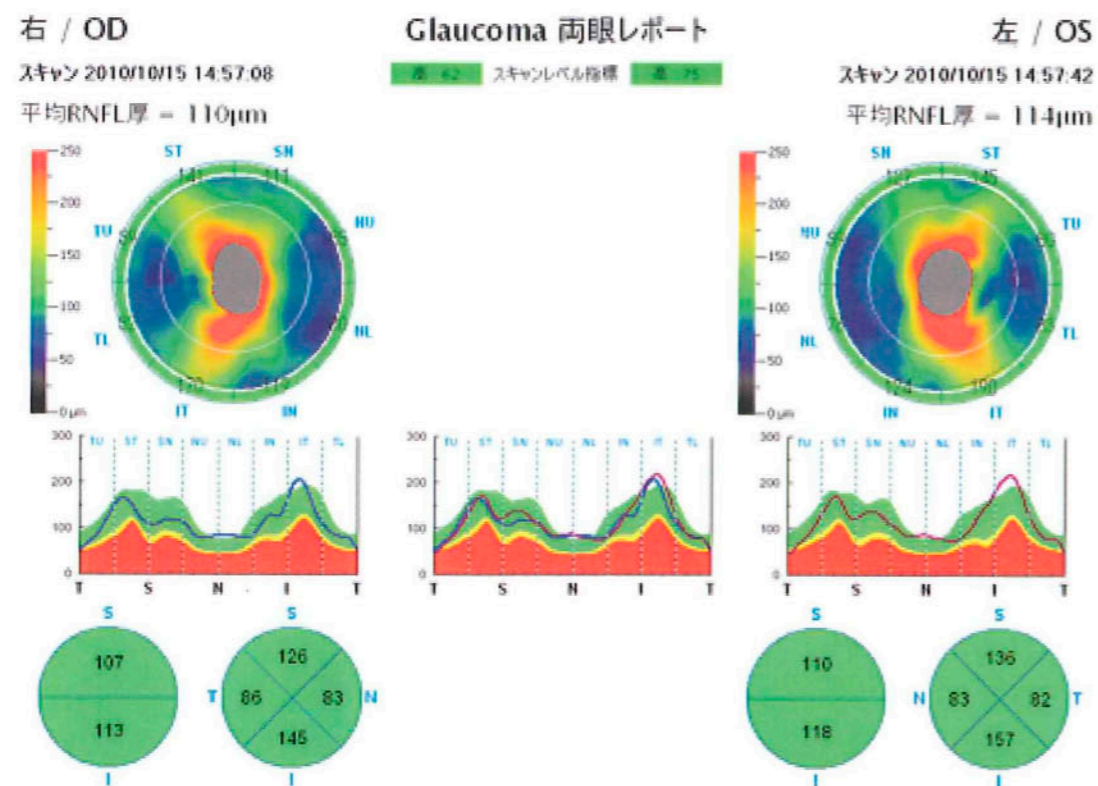


視神経も断層像で撮ることにより緑内障のスクリーニングも可能です。
 緑内障の初期には、眼底検査で網膜神経線維層欠損と視神経乳頭陥凹の拡大が確認でき、次に視野検査で視野異常が確認できるようになります。一度、視野が悪化すると改善させることができないため、初期に緑内障と診断して、早期に治療を開始することが重要です。
 OCTにより、網膜神経線維層欠損がわかるようになり、初期の緑内障の診断に役立つようになりました。

視神経乳頭部



3. OCT検査の実際

初診日、即日検査が可能です。特に予約の必要はありません。
 検査代金は、1割負担の方なら200円、3割負担の方で600円程度です。

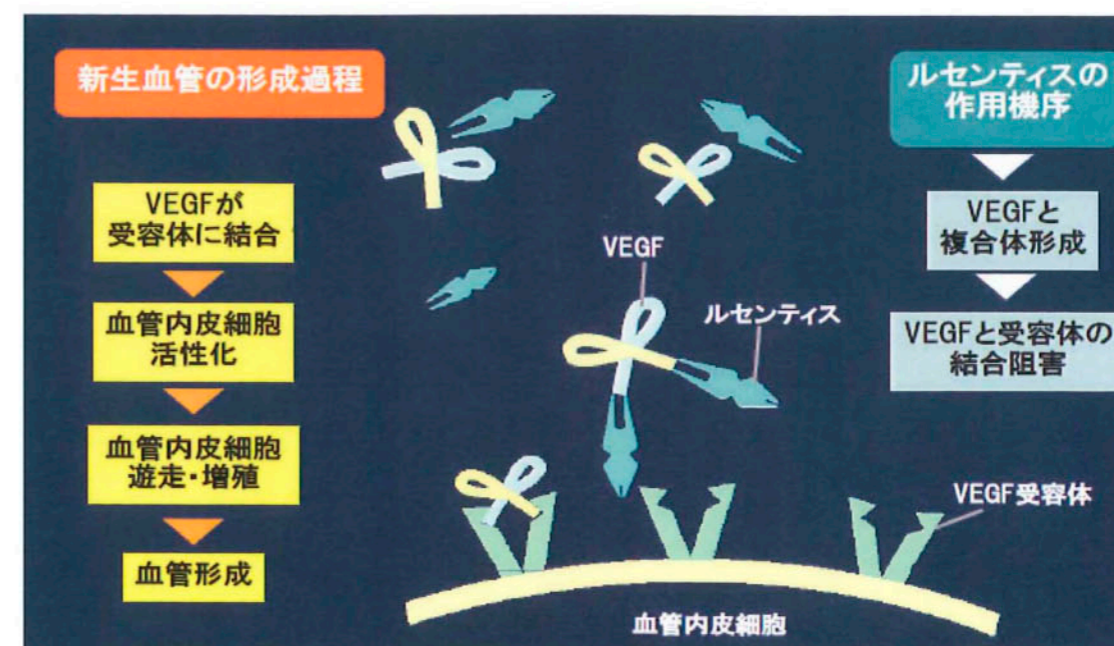
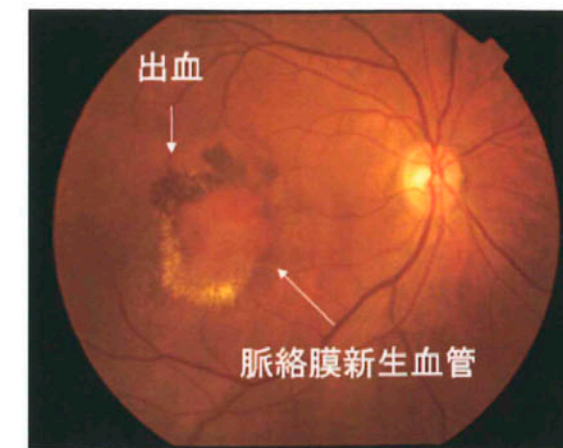
スペクトラル / フーリエドメイン OCT
iVue-100

Optovue 社製



次に、加齢黄斑変性について説明致します。

加齢黄斑変性は、脈絡膜から発生する良くない血管（新生血管）が原因で起こります。新生血管はもろくて弱いため、破れて出血を起こし、血液中の成分がもれ出して、黄斑が腫れ、病状の進行が速く、急激にものが見えにくくなります。
 治療は、VEGF（血管内皮増殖因子）の働きを抑える薬剤を眼内に注射することによって、新生血管の増殖や成長を抑制する治療法です。この治療法を導入しました。



当眼科では、皆様に安心して受診していただけるよう、丁寧でわかりやすい説明を心がけております。目の健康が気になる方はお気軽にご相談ください。

(眼科 上野 豊広)

田中康裕先生を
迎えて

この度、野上病院眼科顧問として田中康裕先生をお迎えすることになりました。田中康裕先生は和歌山日赤医療センター眼科部長として長年勤務され、その診療、手術実績は日本でも優秀で、誰もが認めるものであります。

野上病院では毎週金曜日（10月14日より開始）に診療、手術に携わって頂き、泉南地域におけるグレードの高い眼科診療に貢献できるものと期待され、ここに御紹介致します。